



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第29号
令和5年3月17日

1年のまとめ

教頭 遠藤 知子

コロナウイルス感染症から3年、制限された中での活動が少しずつできるようになり、本来の生活に戻りつつある1年間だったと思います。生徒たちは、様々な活動を経験し、この1年で大きく成長したと感じています。また私たち教職員も、どうしたら生徒たちが夢に向かって頑張れるか授業改善などに積極的に取り組んだ1年間だったと思います。

今年度は昨年度よりふれあいジョブを始め校内実習、現場実習などで、多くの実習を体験できたのではないかと思います。特に3年生は卒業後の進路に向けて納得がいくまで現場での実習に取り組めたのではないのでしょうか。各事業所様の協力があっ



てのことと思います。本当にありがとうございました。またコロナウイルス感染症予防により自分の体調を自分自身で管理することの大切さを理解する生徒も出てきており、実習時には体調を整えて参加することができたと思います。



大地の芸術祭の開催年である今年度は作品鑑賞をはじめ芸術活動や音楽活動に積極的に取り組みました。音楽では、昨年度に続いて「FOUR+」コンサートや授業での沖縄音楽鑑賞を行い、クラシック、ポップス、沖縄民謡などの様々なジャンルの音楽を聞き、音楽活動をとおして様々な人と関わりながら活動することができました。

美術では昨年度作成した小脇プロジェクトの作品が展示されている様子を見学しました。自分の作品や友達の作品を探している生徒や、作品を楽しそうに眺めている生徒など思い思いに作品を楽しむ姿が見られました。当日いらっしゃった小脇プロジェクトを制作時に指導してくださった先生が作品の説明をしてくださり充実した作品鑑賞ができました。

卒業・進級を迎える皆さん。ぜひこれらの経験を自分の糧として新しいことにチャレンジしていきましょう。



「今」「ここ」を大切に

3学年主任 岩井 晶子

10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの学校生活は、入学して1週間あまりで休校に入ってしまったことに象徴されるように、新型コロナウイルス感染症の流行と切っても切れないものでした。「三密を避ける」という合い言葉の元、今まで普通にできたことに制限が加わる不自由な中でしたが、皆さんは様々な場面で、自分たちらしく、活躍していました。

1年生では、「失敗しても」「いい!」と声を掛け合いながら、職業技能の授業やふれあいジョブ、現場実習等に初めて取り組み、「卒業後、働くために必要な基本的な力」を学習しました。皆さんはスポンジが水を吸収するように、挨拶や返事、報告・連絡・相談、指示通りに仕事をする事の大切さなどを学んでいきましたね。

2年生では、「3つのSK」と題し、「S（素直に）K（聞く）」「S（素敵な）K（個性を知る）」に加えて3つめの「S（進んで）K（行動する）」を大事にしていこうと話をしましたね。とても素直で、言われたことには「はい!」と返事をして取り組む皆さんが、少し苦手とする部分でした。宿泊学習や生徒会役員選挙に取り組む中で、仲間同士で話し合い、励まし合いながら、自分たちで考えて行動することの大切さを感じていきました。

社会人への出口となる最高学年の3年生では、「できるか できないかじゃなく やるかやらないかだ!」と自分たちに気合いを入れながら、進路決定に向けての努力を続けてきました。時には最高学年という重圧に苦しんだり、実習で思うように成果が出なくて悩んだりしながらも、前を向いて歩み続けました。いつもまっすぐに進んできたわけではありませんでした。迷いながら、転んでも起き上がりながら、ぐるぐると螺旋階段を一步一步あがるように、みなさんは成長してきました。時には逃げ道を行きたくなったり、人のせいにしたくなったりしたこともあったでしょう。でも、「今」「ここ」でできることに取り組んできたからこそ、社会人としての一步を踏み出すみなさんがあるのだと思います。

さあ、学校生活が終わります。前を向いて、胸を張って卒業しましょう!そして、社会人として、それぞれの場所で、「今」「ここ」でできることに、精一杯チャレンジしていきましょう!自分を励ます言葉を心の中にもちながら…。「おわりは、始まり」です!!



後期学校評価の報告

1月下旬に、保護者の皆様から後期の学校評価アンケートに答えていただきました。以下、アンケート結果を報告します。ご記入いただいたご意見はすべて掲載いたしました。すべての評価項目において、「そう思う」「おおむねそう思う」の肯定的な評価を多くいただきました。一方で学習指導や安心安全な学校づくりなどで忌憚のないご意見をいただきました。いただいたご意見を今後に生かし、生徒、保護者、地域の皆さまの期待に応えられますよう、一層努力して参ります。ご協力ありがとうございました。

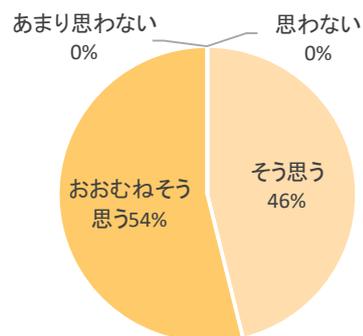
(1) 教育課程について

学校は、地域資源を生かし、地域社会での体験的・実践的な学習や生徒の将来に必要な力を身につけるための学習を実施し、また、その充実を図っていると感じますか？

【ご意見】

- ・コロナ禍で制限もあったと思いますが、来年度は今以上に実践的な学習が増えてくると思います。
- ・木嶋先生が多数の企業をまわってください、感謝しております。
- ・今後も理科や社会等の基礎的な教育を更に学べるようにサポートしていただいて、社会に出た時に経験や学習の少なさのギャップを見たことがある、聞いたことがある、チャレンジしてみたことがあり興味の幅が広がった、にチャレンジしてほしいです。

(1) 教育課程



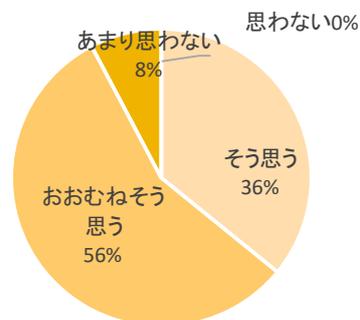
(2) 学習指導について

生徒は、授業を通して、将来の夢や目標をもって取り組もうとする意欲を高め、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能、態度を身に付けていると感じますか？

【ご意見】

- ・個の実態に応じて指導していただいていると思います。
- ・生徒の生活能力・学力が反映されていないクラス分けがされているため、学習内容と能力がかけ離れている生徒がいるがフォローされていない。
- ・いろいろ話を聞くと、意欲は高まるどころか、あまり意欲が高まっていないようです。

(2) 学習指導



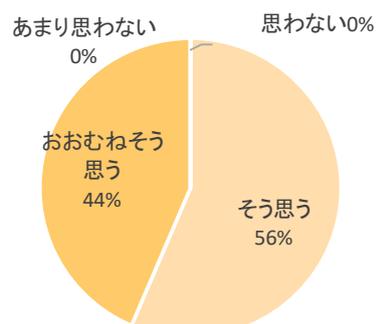
(3) 生徒指導について

生徒は、学校生活を通して、人権意識を高め、人を思いやる気持ちやいじめを許さない態度が育っていると感じますか？

【ご意見】

- ・毎日の連絡ファイル等から学校の様子、同級生とのかかわりなどを読み、優しさ、思いやりの気持ちが特に育っていると感じています。
- ・他の人の気持ちを考えて良いと思います。

(3) 生徒指導



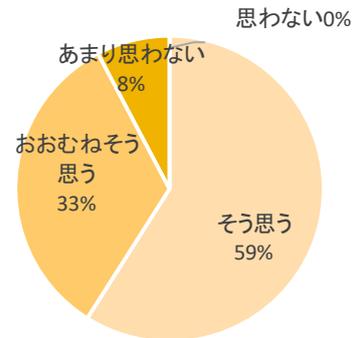
(4) 安心安全な学校づくり

学校は、学習環境を整え、生徒にとって安心・安全な学校づくりに努めていると感じますか？

【ご意見】

- ・昨年末の大雪で多くの生徒さん、先生が学校へ登校できない中、それでも休校にしなかったのはいかなものでしょう。急な全体への連絡は、担任の先生たちが行ってくれると思いますが、何があっても良いように保護者用マニュアルがあるとおおいに助かります。
(例: 昨年のように大雪で交通がマヒして「当日は何時までどのような対応したらよいか」を決めていただきたいです)
- ・押しボタン信号の実現が早くなると良いと思っています。
- ・生徒の外出に対するチェックが甘いと感じる。(早退の連絡のない生徒が事務室前を通ってもスルーしていた)

(4) 安心・安全な学校づくり



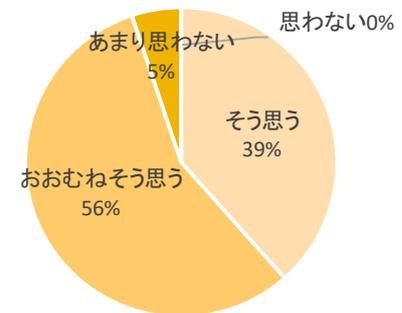
(5) 専門性の向上

学校は、生徒に必要な配慮を行うとともに、生徒が個性を十分発揮できる授業づくりに取り組んでいると感じますか？

【ご意見】

- ・もう少し、専門的な分野での授業が増えると、卒業後の選択肢が増えると思います。
- ・能力によらない一律な内容のものがほとんど。

(5) 専門性の向上



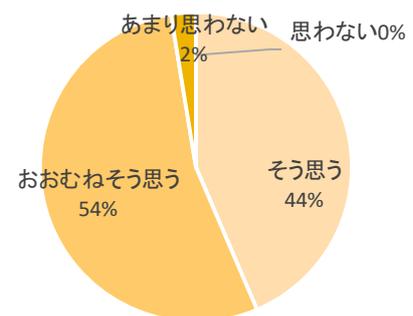
(6) 関係機関との連携

学校は、家庭や地域に向けて学校の取組や生徒の様子を発信し、家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていると感じますか？

【ご意見】

- ・個人の能力に応じた個別指導をきめ細やかにしてほしい。実習前までに具体的な作業内容、注意点、企業側の要求等をもう少し踏み込んで生徒に伝達してほしい。
- ・PTA向けの進路指導や研修などは大変参考にさせていただいております。

(6) 関係機関との連携



(7) その他(お気付きの点など)

- ・3年生保護者の3学期懇談会がないことが残念です。進路が決定しても未定でも卒業後の不安などを感じる時期だと思うので、保護者同士で共有できる機会がほしいと感じました。来年度以降、検討していただけたらと思います。
- ・学校から発信される事項(例えば募金)で、プリント類ではなく、口頭で伝えられることがたまにある様子なのですが、正確に家庭に伝えることができないので、できれば文書で配付していただけるとありがたいです。
- ・学校のホームページが全く更新されてないようです。新しい情報が載ってほしいです。
- ・3年間、清掃介護班で頑張っていましたが、清掃については女の人の方が現場向きでした。
- ・18歳成人に向けての様々な教育が、親が不安に思っていた社会に出るまでにはできるようになってほしいけれど大丈夫だろうか?とっていたこと以上に学んできてくれて、「こういうことに気をつけるね」と家で伝えてくれるので、助かっています。